

# 全労金2022春季生活闘争ニュース・第7号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

中央・東海労組の要求概要と交渉への決意を紹介します！

## ◎中央労組の要求概要

		中央労組					
		正職員	エリア限定職員			再雇用	
			A3～5、AL	A2	A1	ABCEF	DG
基本賃金	4,000円 高卒短大卒初任 の引き上げ	4,000円	時給額28円		—	—	
一時金	4.8	2.1～4.8	1.1		2022支給 +0.1	1.1	
昨年実績	4.7	2.0～4.7	—		2021支給	—	
安定雇用	無期転換 登用制度	—	(実現)		—	—	
			(実現)		—	—	
最低賃金	時間額1,150円、日額8,430円、月額177,100円への引き上げ						
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)		正職員と同様		
	育児時短	小学校卒業まで				—	
	ハラスメント	(実現)				—	
単組独自要求	—	—	特別休暇を 正職員と同様				
関連会社	金庫に対し、申入書を提出						



## 《中央労組・福永書記長（写真は中央下）の決意》

新型コロナウイルス感染症に対する不安を抱えながらも、労働者自主福祉運動を進める運動家として、日々奮闘している全国の組合員の皆さんに対して敬意を表します。中央労組では「良好な職場風土の構築」を要求の冒頭に掲げ、本春季生活闘争を通じ、ろうきんの「存在意義」を我々自身が再認識するとともに、金庫に対しても労働組合の存在意義を認識させるべく、力強く闘争を進めていきます。



要求項目では、基本賃金の一律改善や一時金の上乗せ要求を掲げました。収益構造の変化やデジタル化への対応等、多くの課題がありますが、この厳しい状況を組合員が一致団結して乗り越えていくためにも、今こそ「人への投資」が必要です。

全労金に集う全国の仲間と同じ思いを持ち、全組合員の総意で確立した要求に自信

を持って、10年後・20年後の労金の未来のため、「統一闘争」「統一取り組み」を展開し、最後まで諦めず闘い抜くことを誓います。ともに頑張りましょう！

### ◎東海労組の要求概要

	東海労組（金庫）					東海労組（関連）	
	正職員	パート職員 メイト   スタッフ   アフェイト			再雇用 嘱託職員	正社員	契約社員
基本賃金	2,700円	2,700円			2,700円	3,000円	3,000円 時給20円
一時金	5.0	3.0	2.5	2.5	2.0~ 3.5	3.0	0.5
昨年実績	4.8	1.8	1.8	1.8	1.3~2.8	2.9	0.4
安定雇用	無期転換 登用制度	— (実現)			—	—	無期転換権の付与 (実現)
最低賃金	時間額1,090円への引き上げ					—	
雇用環境	私傷病休職	— 有期雇用者を正職員と同様			—	—	
	育児時短	— 小学校3年生まで			—	— 小学校3年生まで	
	ハラスメント	— (実現)			—	—	
単組独自要求	—					産前産後、通院休暇、 つわり休暇、子の看護休暇、 介護休暇の有給化	



### 《東海労組・丹羽書記長（写真は右から2人目）の決意》

2022春季生活闘争は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で迎える2回目の春闘となります。分散しての中央委員会開催や職場組織における意見集約、アンケートの実施等、この2年間で蓄積してきたノウハウを活かし、工夫しながら組合員と議論を重ね、コロナ禍における春季生活闘争として組合員との合意形成をめざしました。



関連会社も含め、労働金庫で働くすべての役職員一人一人が、福祉金融機関の職員であることを実感し、「自信と誇りを持って」、「安心して働き続けられる環境」づくりをめざす必要があると認識します。

2022春季生活闘争は、例年以上に全国の仲間とともに闘う春季生活闘争であることを意識して、全国の仲間と意思をひとつに、全労金が掲げる方針に結集し、私たちが掲げた要求にこだわりを持って闘い抜きましょう。